

日本メディア学会

第 39 期第 13 回理事会 議事録

日時：2025 年 1 月 11 日（土）10：00～12：00

場所：Zoom によるオンライン開催

出席者（18 名）：理事＝阿部、石田（あ）、石田（佐）、音、笹田、鈴木、辻、土橋、福間、藤田、松尾、松永、
水越、毛利、吉見／ 部会長等＝清水、津田／ 監事＝吉光

欠席者（10 名）：理事＝植村、金平、烏谷、古賀、田中、長崎、村上、山口／ 監事＝柴野、治部

事務局出席者（3 名）：杉山、松山、柳

事務局欠席者（1 名）：ヴィニットポン

1. 報告事項

1. 一般会務報告

1) 事務局報告

・2024 年秋季大会参加者数について

→計 282 名の参加者があったことが報告された。内訳は、会員 161 名、学生 93 名、一般 11 名、その他（賛助会員等）17 名である。

2) 委員会報告

(1) 企画委員会

→2025 年春季大会の発表募集中であるとの報告があった。開催日は開催校の都合でまだ決定できないが、6/21-22 もしくは 6/7-8 開催と告知することを合意した。

(2) 研究活動委員会

→とくになし

(3) 編集委員会

→106 号を編集中である旨の報告があった。

(4) 国際委員会

→とくになし

(5) 内川賞選考委員会・推薦委員会

→推薦委員を含む22名から計13作品の推薦があったとの報告があった。うち条件を満たしていた12作品に対し、今後、選考委員会での議論がされていく旨の報告があった。

(6) その他

→基金・寄付金検討ワーキンググループより、賛助会員のあり方を検討している旨の報告があった。検討事項として、①賛助会員のメリットの明確化、②会費設定、③賛助会員ターゲットの再設定、④賛助会員費に基づく事業化、⑤個人寄付の仕組み、であるとの報告があった。具体的な提案は、次回の理事会にて審議予定である。

2. その他

→とくになし

2. 審議事項

1. 第39期第12回理事会議事録(案)について(総務担当)

→承認された。

2. 2025春季大会に関して(企画委員会)

→開催校から飯田豊委員(立命館大学)を企画委員会とすることが承認された。また、2つのシンポジウム案について、承認された。

3. 修士論文報告会(社会情報学会との合同開催)について(研究活動委員会)

→2024年度も「修士論文報告会(社会情報学会との合同開催)」を実施することが合意された。開催日時は2025年3月30日午後、Zoomによるオンライン開催を予定している。

3. 学会研究活動の再編について(研究活動委員会)

→前回の理事会に引き続き、学会研究活動の再編についての審議あった。あらためて「研究活動委員会-分科会-プロジェクト」の三層構造とすること、プロジェクトは各分科会につき2~3程度を目安とし、公募プロジェクトも受け付けること、プロジェクトは固定されたものではなく、各期の分科会担当理事が中心となって検討すること、などが確認された。そのうえで、今回、分科会編成案として提示された【案1】「理論」「社会」「文化」「歴史」「ジェンダー・ダイバーシティ」+ α として進めていく方向性を共有した。その他、「ワークショップの募集・審査」について、研究活動委員会と企画委員会の作業

のすみわけをどうするか、今後細かな議論が必要であることを共有した。最終的な規約改正は、次回の理事会にて審議することを確認した。

4. 公募プロジェクト募集要項について（研究活動委員会）

→ 公募プロジェクト募集要項について「たたき台」が示された。公募プロジェクトの要件、申請方法について、次回の理事会にてあらためて審議することを合意した。

5. 「日本メディア学会ダイバーシティ宣言（仮）」策定タスクフォースの設置について（執行部）

→タスクフォースの設置について、承認された。

6. 会員の入退会について 入会希望者 10 名／退会希望者 3 名

→承認された。

7. その他

→次の理事会選挙がオンラインとなることがあらためて周知された。

今後の理事会日程

第 14 回 2025 年 3 月 8 日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)

第 15 回 2025 年 5 月 17 日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)

第 16 回 春季大会当日（対面開催）